



IRIS OHYAMA

家庭用

ルームエアコン

IRA-2203R / IRA-2803R

IRR-2219C / IRR-2819C

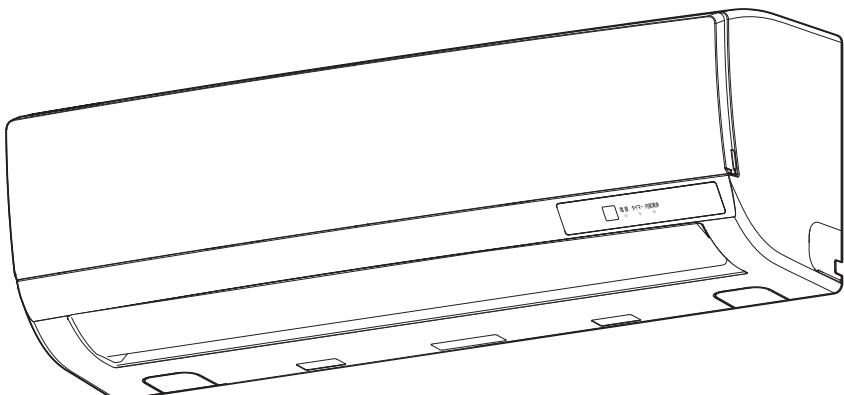
IRR-4001C / IRR-4019C

取扱説明書

室外機 : IRA-2203RZ / IRA-2803RZ

IUF-2219 / IUF-2819

IUF-4019



もくじ

ご使用の前に

| | |
|----------------|---|
| 安全上の注意 | 2 |
| 使用上の注意 | 5 |
| リモコンについて | 5 |
| 各部の名称 | 6 |

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

取り扱いかた

| | |
|------------|----|
| 使いかた | 9 |
| お手入れ | 13 |

こんなときには

| | |
|-------------------|----|
| 故障かな?と思ったら | 15 |
| 長期使用製品について | 17 |
| 仕様 | 18 |
| 保証とアフターサービス | 19 |

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことと示す記号です。



警告
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードについて



- 電源プラグのほこりは定期的に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は必ずルームエアコン専用のコンセントに接続する
他と共に用のコンセントや古いコンセントは使用しないでください。火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷付けない
- 電源コードをステープルなどで固定しない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 延長コードは使用しない
- 電源コードを抜いてエアコンを停止しない
火災・感電の原因になります。

設置について



- 設置・移設はお買い上げの販売店または設置専門業者に依頼する
自分で行うと、火災・破裂・感電・けが・水もれの原因になります。
- アース工事は販売店または専門業者に依頼する
アースが不完全だと、感電の原因になります。
- 室内機の配管取り出し口が、移設などで開いてしまったときは、開口部をふさぐ
内部の回路に触れると、感電・けが・やけどのおそれがあります。



- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。
- 指定の冷媒（R32）以外は使用禁止
本製品はR32専用です。他の冷媒とまざると有害な不純物が発生する可能性があります。

異常時には



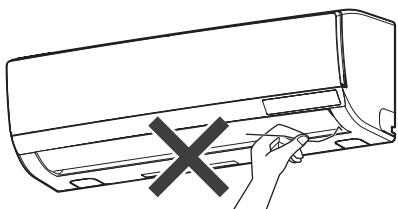
プラグを抜く

- 直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の一例】
 - ・ 内部に水・異物などが入った
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 変形したり、ひび割れしたりしている
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかつたりする
 - ・ 触るとピリピリ電気を感じる
- 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

禁止事項



- 吹き出し口・吸気口・すき間から物や手を入れない
内部には高速回転するファンや高電圧部があるので、感電やけがの原因になります。



- 室内機本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。



誤った取り扱いをすると、人けがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

リモコンの電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく
液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



- 分解しない
皮膚や衣服を損傷することがあります。

分解禁止



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。
- 乾電池は絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

室内機について



- 室内機の下に他の電気製品や家財を置かない
水滴が落ちることがあり、汚損や故障の原因になります。
- 室内機の上に物を載せない
- 室内機に洗濯物などをかけない
落下して、けがや火災の原因になります。
また、風の流れをふさぐと、過熱して火災の原因になります。
- 吹き出し口・吸気口を布や紙、ビニール袋でおおったりふさいだりして運転しない
- 風の流れをさえぎるようなものを周囲に置かない
過熱して火災の原因になります。

お手入れについて



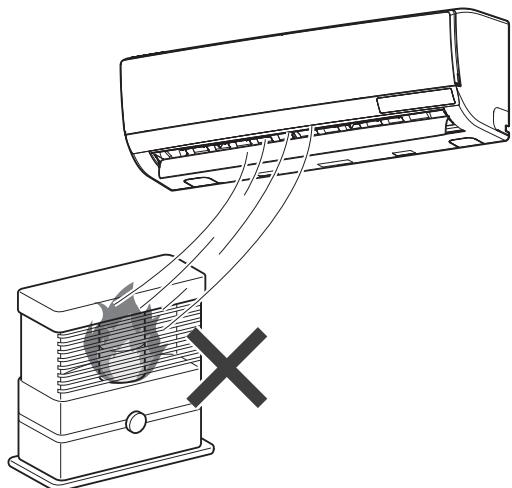
- 前面パネルやエアフィルターを水洗いしたときは、水気を拭き取って、よく乾かしてから取り付ける
水気が残っていると感電の原因になります。
- お手入れのときは、不安定な台に乗らない
転倒してけがの原因になります。
- 室内機内部の金属部に触れない
けがをするおそれがあります。

安全上の注意 つづき

使用上の注意



- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務・特殊用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化の原因になります。
- 長時間冷風を身体に当てるない
- 冷房温度を下げすぎない
特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。
- 動植物に直接風を当てるない
害を与えるおそれがあります。
- 風をストーブなどの燃焼器具に向ける
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
エアコン内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。
- 床にワックス掛けをするときは運転しない
エアコン内部にワックス成分が付着し、水もれの原因になります。ワックス掛けの後は、十分に換気してから運転してください。



- 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する
一酸化炭素中毒の原因になります。
※ 本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。

ドレン水について



- ドレン水が確実に排水されていることを確認する
水もれして周囲を汚損する原因になります。
特に、冷房シーズンの始まりには注意してください。ドレンホース（排水管）の勾配が適切に付いてなかったり、詰まっていたりすると水もれの原因になります。

電源プラグ・電源コードについて



- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
- お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜く
けがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

異常時は



- エアコンを運転しても冷えない・暖まらないときは、販売店または修理専門業者に相談する
冷媒がもれています。冷媒 자체は無害ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。

室外機について



- 1年に1度は、室外機の設置台などが傷んでないか確認する
落下・転倒によるけがの原因になります。
- 上に乗ったり、物を載せたりしない
落下・転倒によるけがの原因になります。
- 室外機をシートなどでおおったり、周囲に物を置いたりしない
過熱して火災の原因になります。
- 室外機の周囲にごみや落ち葉をためない
小動物が侵入し、漏電や火災の原因になります。

使用上の注意

- 暖房運転時は、室外機に霜が付くのを防止するために、自動で霜取りを行います。霜取り運転中は、暖房が停止し、室内機から冷風が出ることがあります。霜が溶けるときに、室外機から湯気や水が発生することがあります。
- 落雷のおそれのあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜いてください。被雷すると故障の原因になります。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

冷媒に関する注意



この家庭用エアコンには、GWP（地球温暖化係数）が675のフロン類（R32）が封入されています。フロン類が排出されると地球温暖化が進みます。移設・修理・廃棄するときは、フロン類の回収が必要です。フロン類に関するお問い合わせは、アイリスコールへお願ひいたします。

リモコンについて

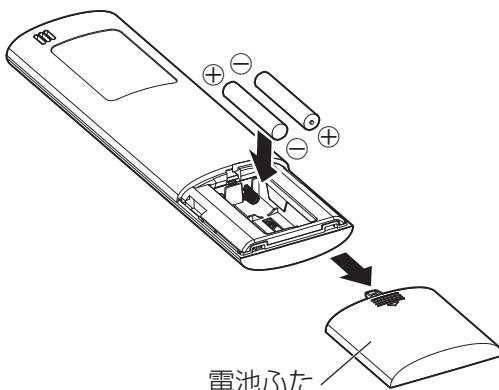
リモコンの表示部に**バッテリマーク**が点灯したときは、早めに電池を交換してください。

■ 電池の交換方法

新しい電池（単4形乾電池×2本）を用意し交換してください。

電池ふたを開け、電池を入れ替える

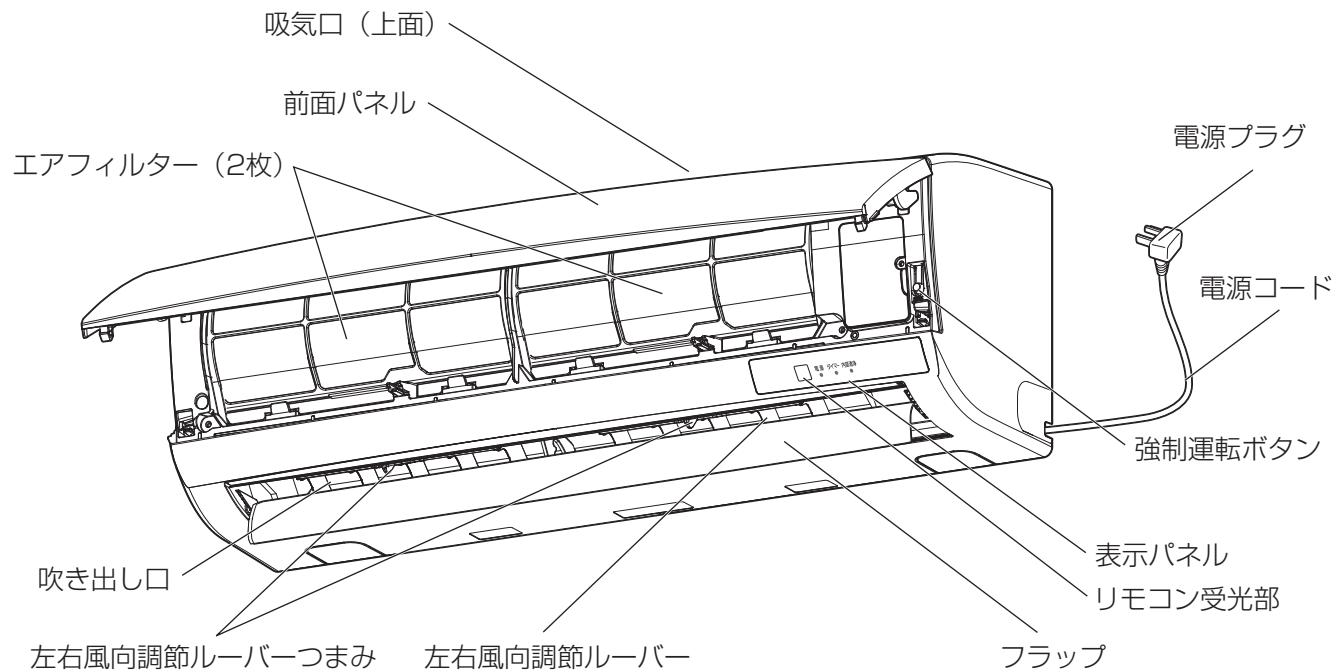
1. 電池ふたの△印を押さえながら下にずらして開けます。
2. 古い電池を取り出し、 \oplus と \ominus の向きを合わせて、新しい電池を入れます。
3. 電池ふたをしっかりと閉めてください。



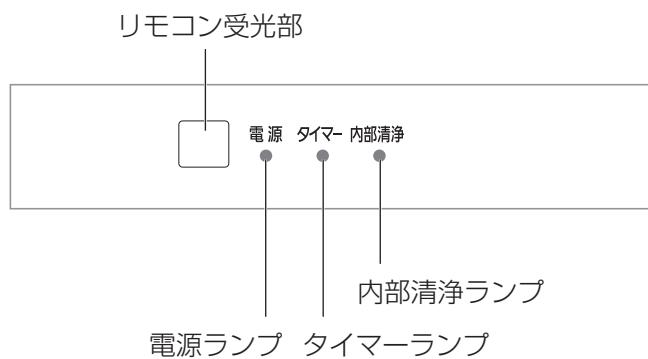
- 電池を誤って取り扱うと、破裂・液もれ・やけど・周囲の汚損の原因になります。3ページ「リモコンの電池についての注意」をよく読んで使用してください。

各部の名称

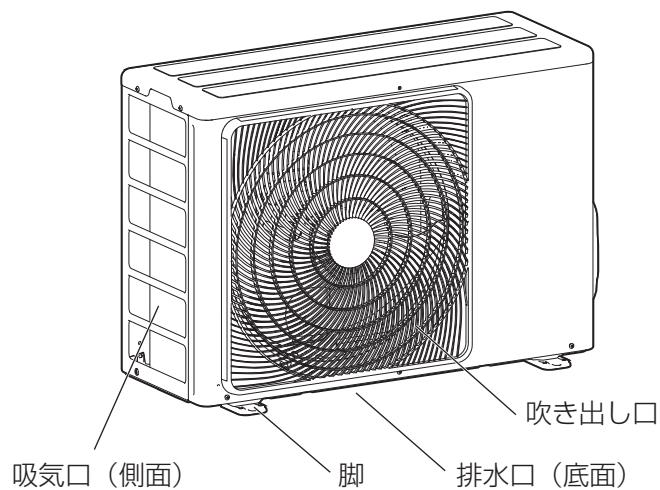
■ 室内機



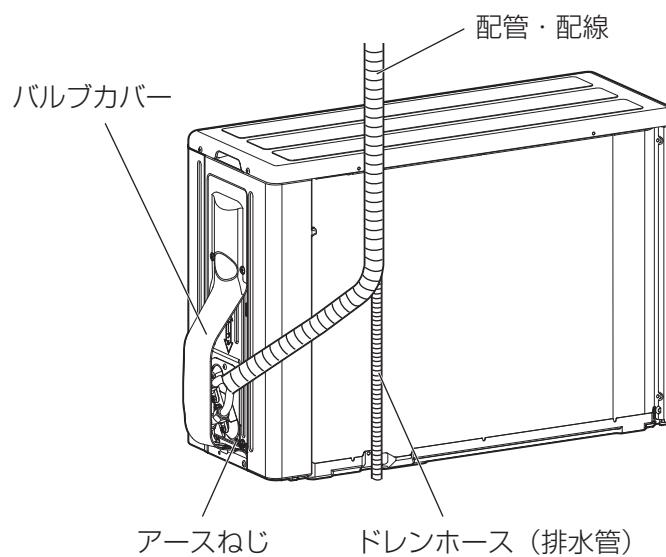
■ 表示パネル（室内機）



■ 室外機正面



■ 室外機背面



■リモコン

赤外線発光部

室内機表示パネルのリモコン受光部に向けて操作してください。

運転モードボタン

ボタンを押すと、選んだモードで運転が始めます。運転中に押すと、選んだモードに切り替わって運転します。(<→P9)

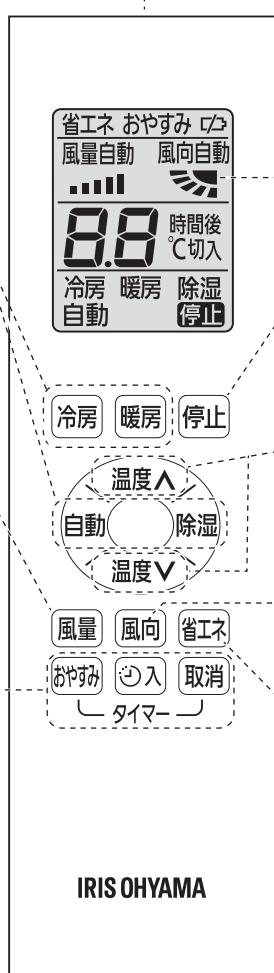
風量ボタン

冷房または暖房運転中に押すと、風量が切り替わります。(<→P9)

タイマーボタン

おやすみボタンを押すごとに、おやすみタイマーの設定時間が1時間増加し、おやすみタイマーがスタートします。おやすみタイマー設定中は1時間ごとに設定温度が1°Cずつ変わります。(<→P11>)

④入ボタンを押すごとに設定時間が1時間増加し、入タイマーがスタートします。取消ボタンを押すとタイマーは取り消されます。(<→P12>)



表示部

運転中に、運転の状態や設定温度・タイマー設定時間などを表示します。

停止ボタン

運転中に押すと、運転が停止します。
(→P9)

温度 ▲/▼ボタン

運転中に設定温度を変更します。
16 ~ 30°Cの範囲で設定できます。
(→P9)

風向ボタン

運転中にボタンを押すたびにフラップの角度が変わります。スイングにすると、フラップが動いて上下にまんべんなく風を送ります。
運転を停止するとフラップは閉じます。
(→P10)

省エネボタン

冷房運転中に、ボタンを押すと省エネ運転します。
(→P10)

使いかた

注意

- エアフィルターが確実に取り付けられていることを確認してください。

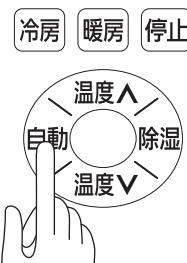
ほとんどの操作はリモコンで行います。

- ・リモコンの赤外線発光部を、本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。

※角度や距離によっては信号が受信できないことがあります。できるだけリモコン受光部正面から、受信できる距離で操作してください。(正面で約5m以内)

■運転する

自動・冷房・暖房・除湿、いずれかの運転モードボタンを押す



- ・室内機の電源ランプが点灯し、フラップが開いて、選んだモードで運転が始まります。



- ・運転中に他のモードボタンを押すと、モードが切り替わって運転します。

自動

- ・リモコンの表示部に**自動**と表示され、温度を検知して、設定した温度を目標に、自動で冷暖房と風量を切り替えて運転します。(風量設定はできません。)

冷房

- ・リモコンの表示部に**冷房**と表示され、設定した温度を目標に冷房運転します。
- ・温度設定・風量設定ができます。
- ・風量ボタンで**風量自動**に設定した場合、検知した温度によって風量を自動で切り替えて運転します。

暖房

- ・リモコンの表示部に**暖房**と表示され、設定した温度を目標に暖房運転します。
- ・温度設定・風量設定ができます。

※暖房運転時は、室内機・室外機の運転音が大きくなることがあります。

※暖房運転時は、室外機に霜が付くのを防止するために、自動で霜取りを行います。霜取り運転中は、暖房が停止します。

除湿

- ・リモコンの表示部に**除湿**と表示され、自動で風量を切り替えて、除湿運転します。(手動で風量設定はできません。)
- ・除湿優先運転となります。リモコン上では温度表示が動くことがあります、温度設定はできません。
- ・除湿運転では、部屋を暖めることはできません。

■運転を停止するには

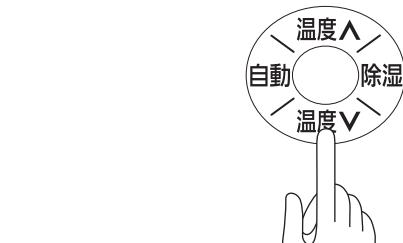
停止ボタンを押す



- ・室内機の電源ランプが消灯し、フラップが閉じて、運転が停止します。

■温度設定

温度 V/Hボタンで変更する



- ・運転中に、温度 V/Hボタンを押すと、リモコンの表示部の温度表示が変わり、設定温度が変更されます。16 ~ 30°Cの範囲で設定できます。

22 °C

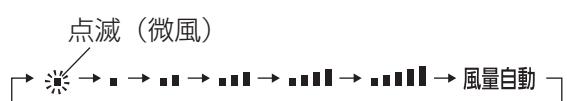
※除湿運転中は温度設定はできません。

■風量設定

風量ボタンで変更する



- ・冷房または暖房運転中に、風量ボタンを押すたびに、リモコンの表示部の風量の表示が変わり、風量が切り替わります。



使いかた つづき

■ 風向調節（上下）

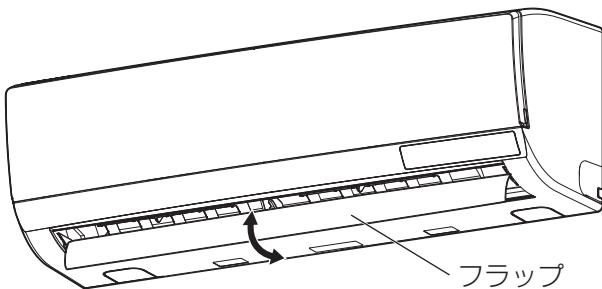
風向ボタンで変更する



- 運転中に風向ボタンを押すと、リモコンの表示部が次のように切り替わり、フラップの角度を変更できます。



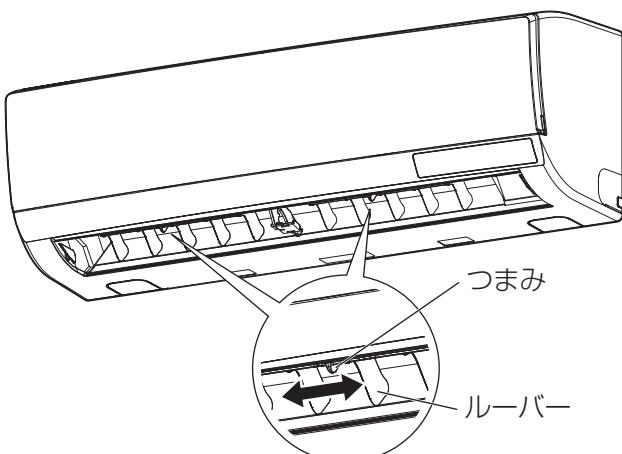
- スイングにすると、フラップが上下にスイングして、まんべんなく風を送ります。
- 風向自動にすると、運転モードの違いや部屋の温度により、自動でフラップの角度を調節します。



■ 風向調節（左右）

ルーバーのつまみを動かして調節する

- リモコンの風向ボタンでフラップを開いた状態に調節し、ルーバーのつまみを手で動かしてください。
- ルーバーは左側と右側を別々に調節できます。部屋の間取りなどに応じて調節してください。



- 室内機内部の金属部に触らないでください。
けがをするおそれがあります。

■ 省エネ運転（冷房モード時）

冷房モードで運転中に省エネ運転にすると、無駄な冷やしすぎを抑えて、電気代を節約します。

省エネ運転にするには、冷房モードで運転中に省エネボタンを押す



- リモコンの表示部に省エネと表示されます。
- 設定温度が23℃以下の場合は、自動的に設定温度24℃に移行し、設定温度が24℃以上の場合は、その温度で省エネ運転します。
- おやすみタイマー設定中に省エネ運転にすると、おやすみタイマーはキャンセルされます。

省エネ運転を終了するには、再度省エネボタンを押すか、他のボタンを押す



- 設定温度23℃以下では省エネ運転は対応しません。手動で23℃以下に変更した場合は、省エネ運転は終了します。
- 停止ボタンを押して運転を終了したときも、省エネ運転は終了します。
- 冷房以外のモードにしたときも、省エネ運転は終了します。

■ タイマー

おやすみタイマー

おやすみタイマー設定中、冷房時は徐々に温度を上げ、暖房時は徐々に温度を下げて、急激な温度変化をなくし、快眠をサポートする機能です。

おやすみタイマーは**おやすみボタン**を押して設定する



- おやすみボタンを押すたびに、リモコンの表示部に時間が表示され、タイマーがスタートします。

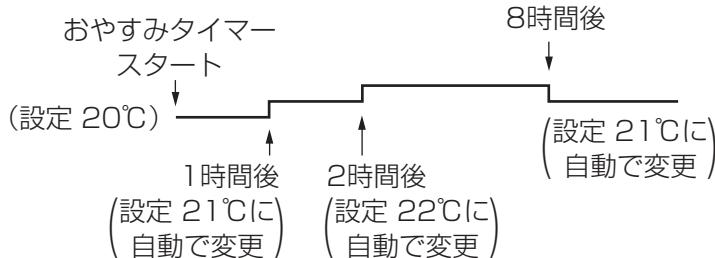
**6 時間後
切**

- 設定時間が経過すると、室内機の電源ランプが消灯し、フラップが閉じて、運転が停止します。
- おやすみタイマーは、1時間単位で24時間まで設定できます。
- リモコンの表示部に**おやすみ**が点灯します。

冷房運転の場合

- 冷房運転中におやすみタイマーを設定すると、風量は自動になり、1時間ごとに1°C設定温度を上げて運転します。(最高30°Cまで)

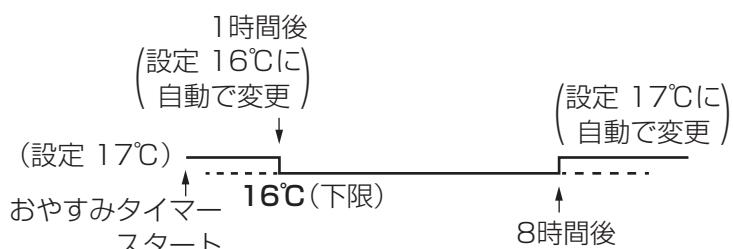
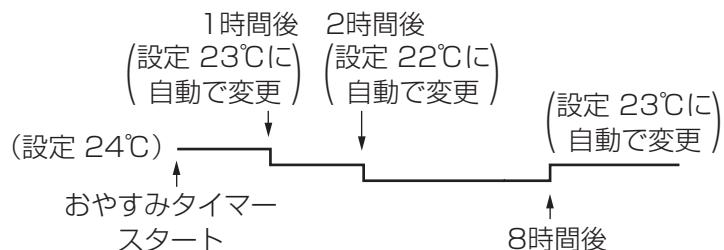
例（冷房運転）



暖房運転の場合

- 暖房運転中におやすみタイマーを設定すると、風量は自動になり、1時間ごとに1°C設定温度を下げて運転します。(最低16°Cまで)

例（暖房運転）



使いかた つづき

入タイマー

入タイマーは⑤入ボタンを押して設定する



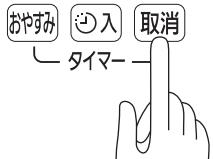
- ⑤入ボタンを押すたびに、リモコンの表示部に時間が表示され、タイマーがスタートします。



- 設定時間が経過すると、室内機の電源ランプが点灯し、フラップが開いて、運転が始まります。
- 入タイマーは、1時間単位で24時間まで設定できます。
- タイマー動作中は、室内機のタイマーランプが点灯します。
- おやすみタイマーと入タイマーは、同時に設定できません。

タイマーを取り消すには、取消ボタンを押す

- 設定されていたタイマーはキャンセルされ、タイマーランプは消灯します。



■ 内部清浄機能

内部をきれいな状態に保つための機能です。

冷房または除湿を10分以上運転した後に停止すると、内部清浄が始まる



- 室内機の内部清浄ランプが点灯します。
- 室外機と室内機は風量を低速にして10分間運転した後、内部清浄は停止します。

※暖房または自動運転の停止後は、一旦冷房または除湿運転にしないと内部清浄機能は動作しません。

内部清浄を動作しないようにするには、運転中に停止ボタンを10秒以上長押しする

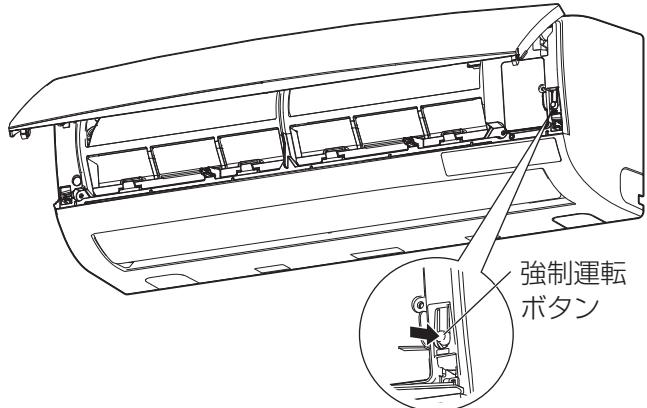
- 内部清浄ランプが3回点滅します。
- 冷房または除湿を10分以上運転した後に停止しても、内部清浄は行いません。

内部清浄を再び動作するようにするには、運転中に停止ボタンを10秒以上長押しする

■ 強制運転

リモコンで操作できないときに、強制的に運転させる機能です。

- 室内機の前面カバーを開け、強制運転ボタンを押します。ボタンを押すたびに以下のように切り替わり、強制運転します。



→ 強制運転 → 強制運転 → 停止
(自動) (冷房)

- 設定温度は24°Cになります。

お手入れ



- 内部の洗浄は自分で行わないでください。
誤った方法で内部の洗浄を行うと、破損して火災や感電の原因になります。エアコン内部の洗浄は専門の業者に依頼してください。

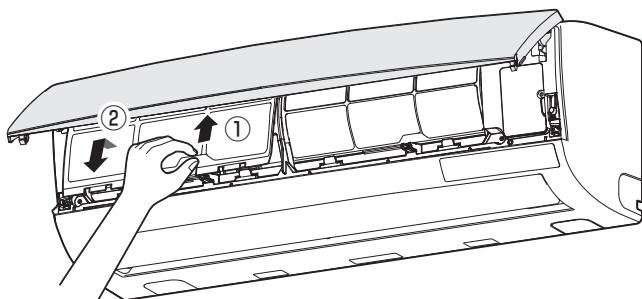


- お手入れのときは、不安定な台に乗らないでください。
- エアフィルター・前面パネルを水洗いしたときは、十分に乾かしてから取り付けてください。
- 室内機内部の金属部に触らないでください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

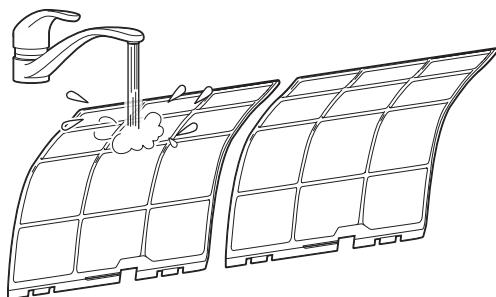
■ エアフィルター 2週間に1回程度

1 前面パネルを開け、エアフィルターを外す

- ・ 前面パネルを、カクッとなって止まるまで開けてください。
- ・ エアフィルター下部中央のつまみを持ち上げてから(①)、手前に引いて取り外してください(②)。



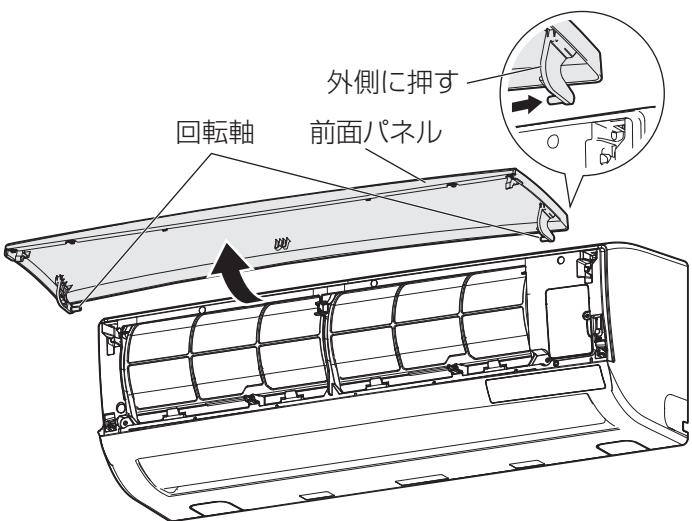
2 ほこりを掃除機などで吸い取るか、水洗いする



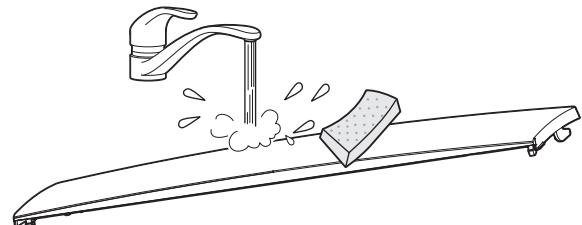
※ 水洗いした後は、よく乾かしてから取り付けてください。

■ 前面パネル

1 前面パネルを水平になるまで開け、回転軸を外側に押しながら、手前に引いて取り外す



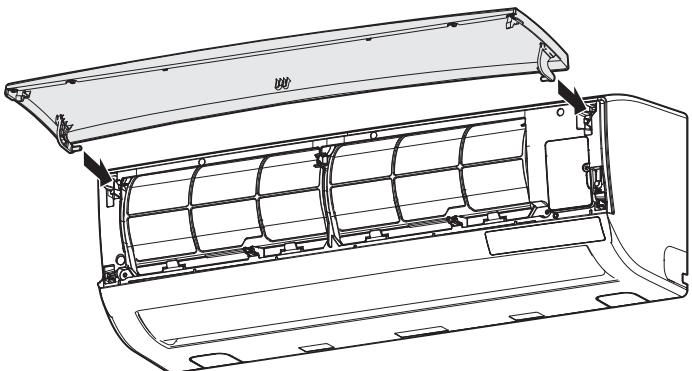
2 柔らかいスポンジなどで水洗いする



- ・ 汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤で洗い、水でよく流し、よく乾かしてください。

前面パネルの取り付け方

前面パネルを水平にして、左右の回転軸を室内機両端の軸の溝に合わせて、押し込む

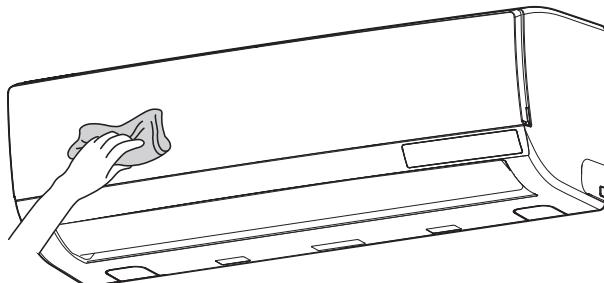


お手入れ つづき

■ 室内機表面

水またはぬるま湯（40°C以下）を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

※汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。



- 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。

■ 再び使い始めるときは

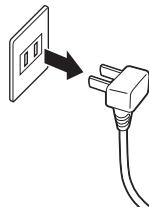
- 1 エアフィルターが取り付けられていることを確認する
- 2 エアコンの周囲がふさがっていないか確認する
- 3 リモコンに乾電池を入れる
- 4 電源プラグをコンセントに接続する

■ 長期間使用しないときは

1 内部を乾燥させる

- ・設定温度30°C、風量■■■、風向➡ (スイング) で、3～4時間冷房運転を行い、内部を乾燥させてください。

2 運転を停止し、電源プラグを抜く



3 エアフィルターのお手入れをする

- ・13ページを参照してお手入れしてください。

4 リモコンの乾電池を抜く

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

| 状 態 | 考 え ら れ る 理 由 | 処 置 |
|--------------|--|--|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれてない ● ブレーカーが切れている | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ● エアコンの回路のブレーカーを入れにしてください。 |
| 風が止まる | <ul style="list-style-type: none"> ● 暖房運転中、室外機の自動霜取りが働くと、温風が停止する ● 自動または冷房・暖房モードで風量自動モードで運転中、設定温度に達すると運転を停止する | <ul style="list-style-type: none"> ● 自動霜取りが終了すると、運転が再開します。 ● 温度調節をしています。故障ではありません。 |
| 暖房なのに冷たい風が出る | ● 暖房運転時、室外機が自動霜取りをすると冷たい風が出ることがある | ● 故障ではありません。自動霜取りが終了すると、暖房運転に戻ります。 |
| リモコンで操作できない | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの赤外線発光部を、室内機のリモコン受光部に向いていない ● リモコンの電池が消耗している ● 電池の向きが合っていない ● リモコンと受光部の間に障害物がある ● 内部清浄している | <ul style="list-style-type: none"> ● 5m以内の距離で、リモコンの赤外線発光部を、室内機のリモコン受光部に向けて、できるだけリモコン受光部の正面から操作してください。 ● 電池をすべて新しいものに交換してください。 ● 電池を正しい向きにセットしてください。 ● 障害物を取り除いてください。 ● 内部清浄中は、内部清浄を停止しないと、他の操作はできません。（→P12） |
| 風量が変更できない | ● 自動または除湿モードで運転している | ● 自動または除湿モードでは、風量は自動でコントロールされます。 |
| 風量が弱い | <ul style="list-style-type: none"> ● 自動または冷房・暖房モードを風量自動で運転中、部屋の温度が設定温度に近づいた ● エアフィルターにほこりなどが詰まっている | <ul style="list-style-type: none"> ● 自動または冷房・暖房モードを風量自動で運転中、部屋の温度が設定温度に近づくと、風量は低速になります。 ● エアフィルターをお手入れしてください。（→P13） |
| フラップが全閉しない | ● 手でフラップを動かすと、停止したときに、フラップが全閉しないことがある | ● 次回運転後、停止時にはフラップは全閉します。 |

故障かな？と思ったら つづき



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



●

自分で分解・修理・改造しないでください。

長期使用製品について

長期間の使用により以下のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

- 通常使用時に室内機から水がもれる
- 据付に問題がなく、リモコンに新しい電池を入れても、リモコンで操作ができない
- ブレーカーがひんぱんに切れる
- 電源コードが折れ曲がったり、破損したりしている
- 電源コードに触ると電源が切れたり入ったりする
- 焦げたようなにおいがする



使用中止

すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

■ 設計上の標準使用期間について

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間を、製品本体に表示しております。無料修理を行う保証期間とは異なります。

| | | 冷房 | 暖房 |
|------|---------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 環境条件 | 電源電圧 | 単相100V | |
| | 周波数 | 50／60Hz | |
| | 温度（室内） | 27℃（乾球温度） | 20℃（乾球温度） |
| | 湿度（室内） | 47%（湿球温度：19℃） | 59%（湿球温度：15℃） |
| | 温度（室外） | 35℃（乾球温度） | 7℃（乾球温度） |
| | 湿度（室外） | 40%（湿球温度：24℃） | 87%（湿球温度：6℃） |
| | 設置条件 | 据付工事説明書による標準的な設置 | |
| 負荷条件 | 住宅 | 木造平屋、南向き和室、居間 | |
| | 部屋の広さ | 製品能力に見合った広さの部屋 | |
| 想定時間 | 1年間の使用日数 (東京モデル) | 6月2日から9月21日までの 112日間 | 10月28日から翌年4月14日までの 169日間 |
| | 1日の使用時間 | 9時間／日 | 7時間／日 |
| | 1年間の使用時間 | 1,008時間 | 1,183時間 |



製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。表記の標準使用期間に満たないときでも、上記のような異常が見られたときには、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

仕様

| | | | | | | | | | |
|------------------------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------------|-----------|-----------|--|--|
| 品番 | 室内機 | IRA-2203R | IRR-2219C | IRA-2803R | IRR-2819C | IRR-4001C | IRR-4019C | | |
| | 室外機 | IRA-2203RZ | IUF-2219 | IRA-2803RZ | IUF-2819 | IUF-4019 | | | |
| 電源 | | 単相100V、50／60Hz | | | | | | | |
| 電源プラグ形状 | | | (II) | | | (I-L) | | | |
| 冷房 | 定格能力 | | 2.2 (0.7～3.1) kW | 2.8 (0.7～3.4) kW | 4.0 (0.7～4.3) kW | | | | |
| | 消費電力 | | 530 (130～800) W | 710 (120～970) W | 1,260 (130～1,370) W | | | | |
| | 運転電流 | | 6.24A | 7.47A | 13.13A | | | | |
| | 運転音 (音響パワー レベル) | 室内機 | 57dB | 58dB | 62dB | | | | |
| | | 室外機 | 57dB | 58dB | 65dB | | | | |
| | 面積の目安 | 鉄筋アパート 南向き洋室 | 15m ² (9畳) | 19m ² (12畳) | 28m ² (17畳) | | | | |
| | | 木造南向き 和室 | 10m ² (6畳) | 13m ² (8畳) | 18m ² (11畳) | | | | |
| 暖房 | 定格能力 (標準) | | 2.2 (0.5～3.9) kW | 3.6 (0.5～4.8) kW | 5.0 (0.7～6.2) kW | | | | |
| | 消費電力 (標準) | | 445 (110～1,015) W | 865 (110～1,255) W | 1,420 (150～1,800) W | | | | |
| | 運転電流 | | 5.24 (最大15.0) A | 8.92 (最大15.0) A | 14.79 (最大20.0) A | | | | |
| | 運転音 (音響パワー レベル) | 室内機 | 59dB | 60dB | 61dB | | | | |
| | | 室外機 | 57dB | 60dB | 67dB | | | | |
| | 面積の目安 | 鉄筋アパート 南向き洋室 | 10m ² (6畳) | 16m ² (10畳) | 23m ² (14畳) | | | | |
| | | 木造南向き 和室 | 8m ² (5畳) | 13m ² (8畳) | 18m ² (11畳) | | | | |
| 通年エネルギー消費効率 (JIS C 9612 : 2013) | | | 5.8 | 5.8 | 4.9 | | | | |
| 区分名 | | | A | A | C | | | | |
| 外形寸法 | 室内機 | 幅795× 奥行230× 高さ250mm | 幅795× 奥行230× 高さ250mm | 幅795× 奥行230× 高さ250mm | | | | | |
| | 室外機 | 幅660× 奥行240× 高さ530mm | 幅780× 奥行290× 高さ550mm | 幅780× 奥行290× 高さ550mm | | | | | |
| 質量 | 室内機 | 9kg | 9.5kg | 10kg | | | | | |
| | 室外機 | 22.5kg | 29.5kg | 35kg | | | | | |

※ 待機中もマイコンを働かせるため、0.7Wの電力を消費します。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ J-Moss (JIS C 0950 : 2008) の規定に基づき、対象となる6物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB・PBDE）の含有について情報を公開しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.irisohyama.co.jp/safetyinfo/importanttopics/j-moss.html>

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間にについて

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、9年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料) **0800-919-0770**

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00／13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは(通信料無料) **0800-888-2600**

Webからのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください

据付工事

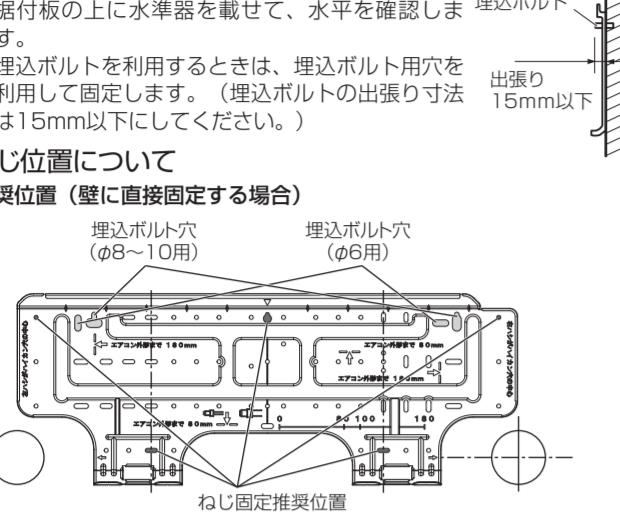
※前面パネルは外さないで据付作業を行ってください。

1 穴あけ・据付板固定

- 「穴あけ寸法図」にしたがって穴を開けます。
- 据付板は、ねじ固定推奨位置など、4か所以上ねじで固定してください。
- 据付板を壁に直付けする場合**
 - ①前面パネルと下部の引っ掛け部付近を、必ずねじで締めてください。
 - ②「穴あけ寸法図」にしたがって、据付板の回りは間隔を空け、壁内の構造材をさして水平に取り付けます。(4か所以上をねじで固定してください。)
 - ③据付板の上に水準器を載せて、水平を確認します。
 - ④埋込ボルトを利用するときは、埋込ボルト用穴を利用して固定します。(埋込ボルトの出張り寸法は15mm以下にしてください。)

2 ねじ位置について

推奨位置(壁に直接固定する場合)



3 回り縁と鴨居を利用する場合

据付板(市販品)を使用する

2 電気工事

- 電源はルームエアコン専用とし、エアコン専用コンセントを電源コードの届くところに据付してください。
- コンセントは新しいものを使用してください。
- プラグの交換や延長などの電源コード改造や、延長コードの使用は絶対にしないでください。故障や火災の原因になります。
- 電源コードをビニールテープなどで巻いて収納しないでください。
- 電源電圧を必ず確認してください。

IRA-2203R/IIR-2219C/IRA-2803R/IIR-2819C

| 電源 | コンセント定格・形状 | 最大電流 | コード長さ |
|--------|------------|------|-------|
| 単相100V | 15A | 15A | 1.3m |

IRR-4001C/IRR-4019C

| 電源 | コンセント定格・形状 | 最大電流 | コード長さ |
|--------|------------|------|-------|
| 単相100V | 20A | 20A | 1.3m |

・電源回路容量に十分余裕のあるように配線工事を行ってください。また、機種と据付場所によっては感電防止のため漏電遮断器の取り付けが法規上必要な場合があります。

3 接続配線の接続(室内機)

配線のしかた

- 前面パネルを開け、端子台カバーⒶ・端子台カバーⒷを順に外します。
- ケーブルを、前面より15cm程度引き出して、先端の皮をむき、端子台に挿入します。
※皮むき時に芯線の被覆を傷つけないでください。
※Fケーブルは、平形ビニール外装ケーブルφ2.0(3芯)を使い、確認認証から芯線が見えるまで差し込んでください。
- ケーブルを外すときは
確認認証(3か所) 端子台 黒 赤 外被覆
Fケーブル(引き抜く)
ケーブルを外すときは
強く押す
端子台 突起部
Fケーブル(引き抜く)
- 端子台カバーⒷを元のねじ2本で取り付けます。
④端子台カバーⒷ左側のつめを本体内側に引っ掛けて、元のねじで固定し、前面パネルを閉じます。

4 配管・ドレンホースの成形

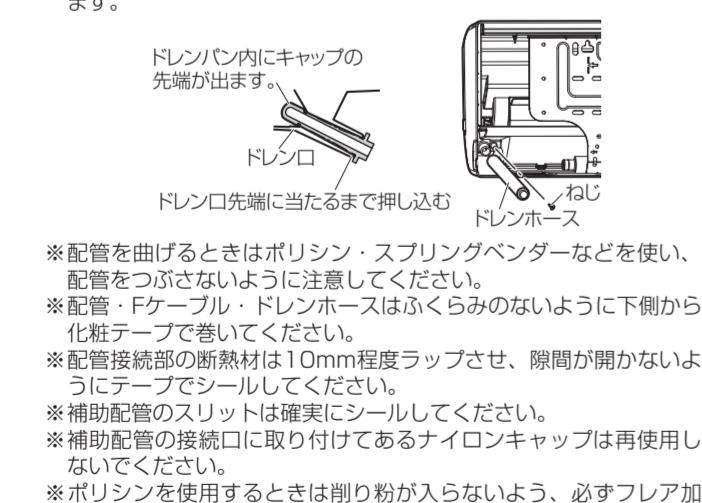
※スリーブクッションを使用すると、配管作業が楽になります。

■ ドレンホースの接続

- 製品のドレンホースの外径はφ16です。延長ドレンホースの内径φ16部分でドレンホースと接続してください。
- 内径φ18 外径φ16 内径φ16 外径φ16
- 延長ドレンホース 製品のドレンホース 延長ドレンホース 製品のドレンホース
- ドレンホースは必ず下り勾配を設け、確実に排水されるように施工してください。
- 延長ドレンホースが屋内を通るときは、結露防止のため断熱処理をしてください。
- ドレンホース接合部は、抜け防止と漏水防止のため必ずテープを巻いてください。
- 施工後は、ドレンホース接合部からの漏水がなく、屋外に排水されることを確認してください。

■ 左後取り・左取り・左下取りの場合

- ドレンホースとドレンキャップを付け替えます。ドレンホースはねじで固定されています。付け替え後もこのねじで固定してください。ドレンキャップの差し込みは、4mmの六角レンチを使用して、ドレンキャップのツバが、ドレン口先端に当たるまで押し込みます。



※配管を曲げるときはポリシン・スプリングベンダーなどを使い、配管をつぶさないよう注意してください。

※配管・Fケーブル・ドレンホースはふくらみのないように下側から化粧テープで巻いてください。

※配管接続部の断熱材は10mm程度ラップさせ、隙間が開かないようにテープでシールしてください。

※補助配管のスリットは確実にシールしてください。

※補助配管の接続部に取り付けてあるナイロンキャップは再使用しないでください。

※ポリシンを使用するときは削り粉が入らないよう、必ずフレア加工を行った後に挿入してください。

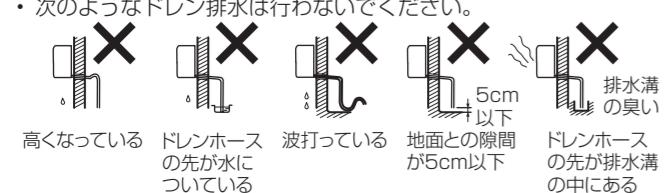
5 室内ユニットの取り付け

- 配管を壁穴に通し、据付板に室内機を引っ掛けます。
- 室内機を左右に動かして、引っ掛けていることを確かめ、下部を壁側に押しつけます。
- ※電源コードを収納する場合は配管収納部に収納してください。



左下・左・左後配管の取付けについて

- 室内機と壁の間にスリーブクッションなどを入れて室内ユニットを持ち上げると、配管作業が楽にできます。
- ドレン排水について
・ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。
・次のようなドレン排水は行わないでください。



据付工事

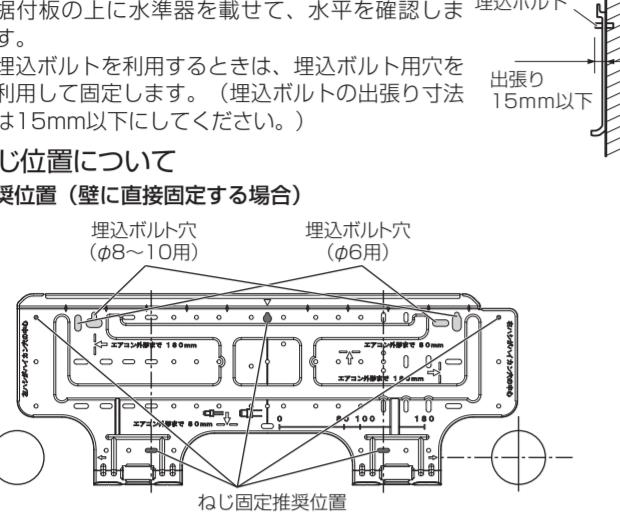
※前面パネルは外さないで据付作業を行ってください。

1 穴あけ・据付板固定

- 「穴あけ寸法図」にしたがって穴を開けます。
- 据付板は、ねじ固定推奨位置など、4か所以上ねじで固定してください。
- 据付板を壁に直付けする場合**
 - ①前面パネルを開けてください。
 - ②片側のエアフィルターを取り外してください。(右取りの場合は左側のエアフィルター、左取りの場合は右側のエアフィルター)
 - ③図に示すように、水差しの先端をフィルター枠の間から挿入し、水差しの先端を熱交換器に当てて、ゆっくりと水を注入してください。
- ④据付板の上に水準器を載せて、水平を確認します。
- ⑤埋込ボルトを利用するときは、埋込ボルト用穴を利用して固定します。(埋込ボルトの出張り寸法は15mm以下にしてください。)

2 ねじ位置について

推奨位置(壁に直接固定する場合)



3 回り縁と鴨居を利用する場合

据付板(市販品)を使用する

2 電気工事

- 電源はルームエアコン専用とし、エアコン専用コンセントを電源コードの届くところに据付してください。
- コンセントは新しいものを使用してください。
- プラグの交換や延長などの電源コード改造や、延長コードの使用は絶対にしないでください。故障や火災の原因になります。
- 電源コードをビニールテープなどで巻いて収納しないでください。
- 電源電圧を必ず確認してください。

IRA-2203R/IIR-2219C/IRA-2803R/IIR-2819C

| 電源 | コンセント定格・形状 | 最大電流 | コード長さ |
|--------|------------|------|-------|
| 単相100V | 15A | 15A | 1.3m |

IRR-4001C/IRR-4019C

| 電源 | コンセント定格・形状 | 最大電流 | コード長さ |
|--------|------------|------|-------|
| 単相100V | 20A | 20A | 1.3m |

・電源回路容量に十分余裕のあるように配線工事を行ってください。また、機種と据付場所によっては感電防止のため漏電遮断器の取り付けが法規上必要な場合があります。

3 接続配線の接続(室内機)

配線のしかた

- 前面パネルを開け、端子台カバーⒶ・端子台カバーⒷを順に外します。
- ケーブルを、前面より15cm程度引き出して、先端の皮をむき、端子台に挿入します。
※皮むき時に芯線の被覆を傷つけないでください。
※Fケーブルは、平形ビニール外装ケーブルφ2.0(3芯)を使い、確認認証から芯線が見えるまで差し込んでください。
- ケーブルを外すときは
確認認証(3か所) 端子台 黒 赤 外被覆
Fケーブル(引き抜く)
ケーブルを外すときは
強く押す
端子台 突起部
Fケーブル(引き抜く)
- 端子台カバーⒷを元のねじ2本で取り付けます。
④端子台カバーⒷ左側のつめを本体内側に引っ掛けて、元のねじで固定し、前面パネルを閉じます。

4 配管・ドレンホースの成形

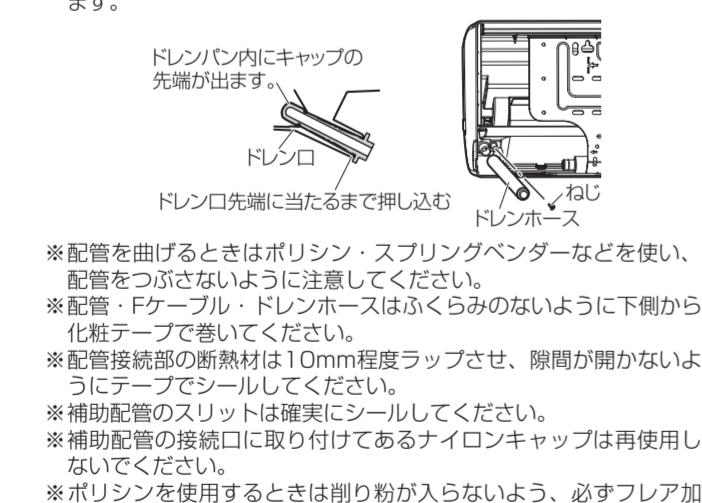
※スリーブクッションを使用すると、配管作業が楽になります。

■ ドレンホースの接続

- 製品のドレンホースの外径はφ16です。延長ドレンホースの内径φ16部分でドレンホースと接続してください。
- 内径φ18 外径φ16 内径φ16 外径φ16
- 延長ドレンホース 製品のドレンホース 延長ドレンホース 製品のドレンホース
- ドレンホースは必ず下り勾配を設け、確実に排水されるように施工してください。
- 延長ドレンホースが屋内を通るときは、結露防止のため断熱処理をしてください。
- ドレンホース接合部は、抜け防止と漏水防止のため必ずテープを巻いてください。
- 施工後は、ドレンホース接合部からの漏水がなく、屋外に排水されることを確認してください。

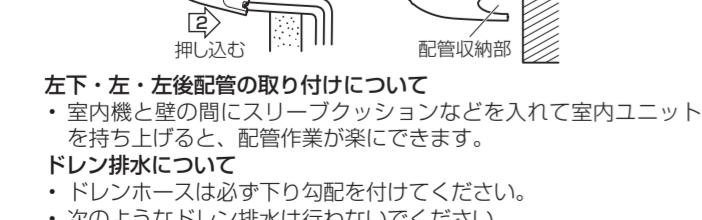
■ 左後取り・左取り・左下取りの場合

- ドレンホースとドレンキャップを付け替えます。ドレンホースはねじで固定されています。付け替え後もこのねじで固定してください。ドレンキャップの差し込みは、4mmの六角レンチを使用して、ドレンキャップのツバが、ドレン口先端に当たるまで押し込みます。



左下・左・左後配管の取付けについて

- 室内機と壁の間にスリーブクッションなどを入れて室内ユニットを持ち上げると、配管作業が楽にできます。
- ドレン排水について
・ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。
・次のようなドレン排水は行わないでください。

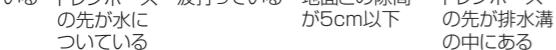


5 室内ユニットの取り付け

①配管を壁穴に通し、据付板に室内機を引っ掛けます。

②室内機を左右に動かして、引っ掛けていることを確かめ、下部を壁側に押しつけます。

※電源コードを収納する場合は配管収納部に収納してください。



左下・左・左後配管の取付けについて

- 室内機と壁の間にスリーブクッションなどを入れて室内ユニットを持ち上げると、配管作業が楽にできます。

ドレン排水について

- ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。

・次のようなドレン排水は行わないでください。



高くなっている ドレンホースの先端が水についている

波打っている 地面との隙間が5cm以上

排水溝の中にある ドレンホースの先端が排水溝の中にいる

配管の断熱方法について

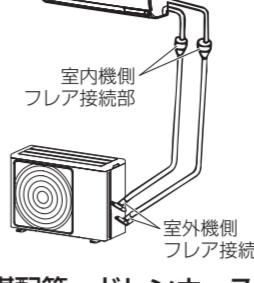
・断熱材で配管をしっかりと覆った後にテープ処理をしてください。



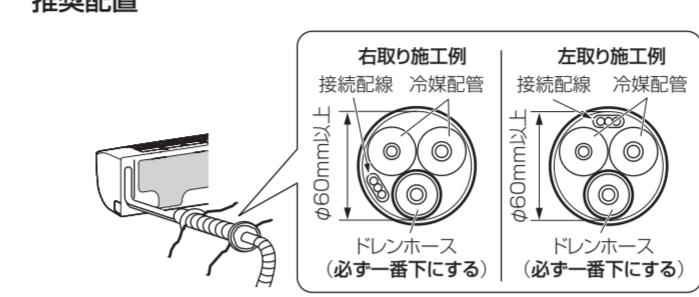
※隙間があると結露して水漏れの原因になります。

フレア配管接続部の締付けトルク

室内機・室外機の各フレア配管接続部は、トルクレンチを使用して、規定の締付けトルクで確実に締め付けてください。接続に不備があると、ガス漏れだけでなく、回路障害の原因になります。



壁穴に通すときの、接続配線・冷媒配管・ドレンホースの推奨配置



※壁を貫通させるときは、必ずウォールキャップと貫通スリーブを使用してください。

※集合住宅に据付する場合で、配管類が防火区画を貫通するときは、耐火処置として耐火キャップが必要です。

</div